

* この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野 I	科目名	看護倫理		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 看護者として基本的責任を果たす為、看護者のあり方に対する倫理がわかる。 2. 人間尊重の精神に基づき人間としてのあり方、生き方について理解と思索を深め、倫理に基づいた行動がとれる能力を養う。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	倫理とは 倫理理論			講義
	2	生命倫理とは 倫理原則 看護職の責務 インフォームド・コンセント 個人情報の保護 性と生殖 死 先端医療と生命倫理 医療保険制度			講義
	3	看護倫理 歴史 看護の倫理原則 看護者の倫理綱領			GW
	4	看護実践上における倫理的概念 1) アドボカシー 2) 責務 3) 協力 4) ケアリング			講義
	5・6	倫理的問題へのアプローチの方法と分析の実際			講義・GW
	7	看護研究と倫理 1) 看護研究を行う上での倫理的問題 2) 臨床の場における研究と倫理 3) 研究者の抱えるジレンマ			講義
	8	終講試験			講義
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護倫理《医学書院》				
参考文献	看護者の基本的責務《日本看護協会出版社》 看護倫理を考える言葉《日本看護協会出版社》 看護倫理の基本《医学芸術者》 看護倫理《南江堂》				
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		

* この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野 I	科目名	看護研究		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 看護研究の意義や必要性を学び、研究方法の基盤を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 研究の意義と必要性 1) 看護研究の目的・定義 2) 看護研究を学ぶ意義 3) 看護研究のテーマとなる条件 4) 看護研究の歴史と看護理論 5) 看護研究における倫理的配慮			講義
	2	2. 研究の種類と研究方法 1) 実験研究 2) 観察研究 3) 事例研究 4) 文献研究 5) 現象学的アプローチ 6) 実施順序 7) 研究デザイン			講義
	3	3. 文献検索と文献検討 1) 文献検索・文献検討の目的 2) 文献の種類と活用方法 3) 文献検索の進め方 4) 文献入手の方法の整理の仕方			講義 演習
	4	5) 文献検討の基本的な考え方 (1) 情報収集の視点 (2) クリティークの視点			講義
	5	(3) 論文のクリティーク			演習
	6	4. 研究の進め方 1) 研究全体の進め方 2) 具体的な研究の進め方 (1) 研究計画書の書き方 (2) データ収集の方法 (3) データの整理と分析 (4) 妥当性と信頼性 (5) 倫理的配慮			講義
	7	3) 研究論文にまとめる意義 4) 研究論文の全体の構成 5) 論文の書き方 6) 抄録の書き方 7) 研究成果を発表する意義 8) 効果的なプレゼンテーション			講義
	8	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	かんたん看護研究 《南江堂》				
参考文献	講義時提示する				
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	前回の講義資料を復習する テキストの関連部分を読む 課題が提示された場合は、事前に調べて参加する		

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野 I	科目名	看護研究演習		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・15時間	講師名	専任講師
学習目標	1. ケーススタディを実施し看護研究の実際を理解する				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. ケーススタディとは ケーススタディの意義 2. ケーススタディの方法 1) テーマの選定			講義
	2	2) 研究計画書の書き方 3) 文献検索			講義・演習
	3	3. ケーススタディを行うにあたっての原則 4. ケーススタディのまとめ方			演習
	4	5. 研究計画書の作成・修正 ケースレポートの作成			演習
	5	6. 発表に向けての準備 抄録の書き方 7. 発表時の準備 1) 発表方法 2) 発表時の留意点			演習
	6	3) 発表会準備 ・資料作成 ・会場・物品準備			グループワーク
	7・8	ケーススタディの発表			発表会
評価方法	研究計画書 ケースレポート 抄録 発表について評価する				
テキスト	看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方 《照林社》				
参考文献					
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	ケーススタディ発表までに提示された課題を計画的に進める		